

平成 23 年 4 月 12 日

がん診療連携拠点病院長 様

全国がん（成人病）センター協議会
第 21 回がん臨床研究フォーラム
実行委員長 笹田 昌孝
(滋賀県立成人病センター総長兼病院長)

第 21 回がん臨床研究フォーラムの開催について

全国がん(成人病)センター協議会および当院の運営につきましては、平素より格別の御指導、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の東北地方太平洋沖地震においてお亡くなりになられた方々に衷心より哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

さて、「第 21 回がん臨床研究フォーラム」を下記のとおり開催しますので、御案内します。各会場での御出席を希望される場合は、下記によりお申し込みください。

なお、本通知は、全国がん（成人病）センター協議会加盟施設にも御案内しておりますので御承知おきください。

記

1. 開催日時
平成 23 年 5 月 27 日（金） 9：00～15：50
2. メイン会場
国際研究交流会館 国際会議場（東京都中央区築地 5-1-1 国立がん研究センター内）
中継会場：全国 21 施設（がん診療情報ネットワークシステム参加施設）※調整中
3. プログラム（別紙のとおり）
主題 1：「明日の遠隔病理・画像診断」
主題 2：「チーム医療、今、再び」
4. 申込方法
別紙申込書に必要事項を記入のうえ、ファクシミリまたはメールにてお申し込みください。
5. 申込先
滋賀県立成人病センター 経営企画室（担当者：谷本）
FAX：077-582-5931
E-mail：tanimoto-kei@pref.shiga.lg.jp
6. 申込締切
5 月 12 日（木）中
※各会場へは締切後できるだけ早く申込者リストを送付させていただきます。
7. その他
プログラム・抄録集につきましては、5 月中旬に発送させていただきます。

事務局
滋賀県立成人病センター 経営企画室
谷本
TEL:077-582-8065/FAX:077-582-5931
E-mail:tanimoto-kei@pref.shiga.lg.jp

第 21 回がん臨床研究フォーラムプログラム

平成 23 年 5 月 27 日 (金)

於：国立がん研究センター内国際研究交流会館

＜開会の辞＞ (9:00～9:05)

- ・ 全国がん(成人病)センター協議会会長 嘉山 孝正
(国立がん研究センター理事長)
- ・ 第 21 回がん臨床研究フォーラム実行委員長 笹田 昌孝
(滋賀県立成人病センター総長兼病院長)

＜午前の部＞シンポジウム (9:05～12:00)

主題：明日の遠隔病理・画像診断

質の高いがん医療を国民に提供するためには、迅速かつ正確な病理診断と放射線画像診断が必須である。診療支援としての遠隔病理・画像診断のシステム構築と、その活用状況、並びに今後の展望について、シンポジウム形式で広く討議する。

- ・ 座長：滋賀県立成人病センター研究所長 真鍋 俊明

【9:05～9:40】

基調講演 (講演 30 分、質疑 5 分)

病理診断・教育支援ネットワーク体制の確立

～「病理診断・教育支援ネットワーク：滋賀県モデル」の構築を例にして～
滋賀県立成人病センター 研究所長 真鍋 俊明

【9:40～10:00】(講演 15 分、質疑 5 分)

1 遠隔病理診断の歴史と問題点

ルイ・パストゥール医学研究センター 臨床病理研究部長 土橋 康成

【10:00～10:20】(講演 15 分、質疑 5 分)

2 過去 4 年間の病理診断支援及び病理診断情報発信の成果。今後の病理診断精度管理の試みについて。

国立がん研究センターがん対策情報センター

がん医療支援研究部 病理診断コンサルテーション推進室長 長谷部 孝裕

【10:20～10:40】(講演 15 分、質疑 5 分)

3 広域病理診断支援ネットワークの形成

国際医療福祉大学三田病院 病理診断センター長 長村 義之

【10:40～11:00】(講演 15 分、質疑 5 分)

4 コンサルテーションの現場から ～画像診断～

国立がん研究センターがん対策情報センター

がん医療支援研究部 画像診断コンサルテーション推進室長 女屋 博昭

【11:00～11:20】(講演 15 分、質疑 5 分)

5 超高速インターネット衛星「きずな」を用いた遠隔医療実験

宇宙航空研究開発機構 宇宙利用ミッション本部

衛星利用推進センター ミッションマネージャ 中尾 正博

【11:20～12:00】

総合討論

＜昼食休憩＞ (12:00～13:00)

＜午後の部＞ワークショップ (13:00～15:50)

主題：チーム医療、今、再び

「チーム医療」は、国民が安心して満足のいくがん医療を受けるための必須ツールである。ワークショップ形式でこれまでの「チーム医療」の検証を行い、課題を整理してよりよいがん医療の提供に寄与することを目的とする。

座長：京都大学医学部附属病院 外来化学療法部副部長 柳原 一広
静岡県立静岡がんセンター 歯科口腔外科部長 大田 洋二郎

【13:00～13:20】（講演 15 分、質疑 5 分）

- 1 臨床心理士の立場から ～がん医療における心理的支援について～
自治医科大学附属病院 地域医療連携部総合相談室 臨床心理士 稲田 美和子

【13:20～13:40】（講演 15 分、質疑 5 分）

- 2 リハビリテーション医の立場から ～がんの術前・術後リハビリテーション～
滋賀県立成人病センター リハビリテーション科長 川上 寿一

【13:40～14:00】（講演 15 分、質疑 5 分）

- 3 歯科衛生士の立場から ～がん治療における口腔ケア～
静岡県立静岡がんセンター 歯科口腔外科 歯科衛生士 鈴木 美帆

【14:00～14:20】（講演 15 分、質疑 5 分）

- 4 臨床検査技師の立場から ～迅速検体検査とチーム医療体制の工夫～
神戸百年記念病院 臨床検査部 科長 菊池 正幸

＜休憩＞ (14:20～14:30)

【14:30～14:50】（講演 15 分、質疑 5 分）

- 5 がん専門薬剤師の立場から ～抗がん薬の薬剤指導～
国立がん研究センター中央病院 薬剤部 がん専門薬剤師 牧野 好倫

【14:50～15:10】（講演 15 分、質疑 5 分）

- 6 がん薬物療法専門医の立場から ～外来化学療法におけるチーム医療から～
京都大学医学部附属病院 外来化学療法部 副部長 柳原 一広

【15:10～15:30】（講演 15 分、質疑 5 分）

- 7 がん認定看護師の立場から ～外来化学療法センターにおける看護師の役割～
名古屋第二赤十字病院 外来化学療法センター
がん化学療法看護認定看護師 松浦 美聡

【15:30～15:40】

総合討論

＜総括と Take home message＞ (15:40～15:50)

滋賀県立成人病センター副院長 鈴木 孝世

(以上)

施設名	
担当者名	
電話番号	

第21回がん臨床研究フォーラム参加申込書

1. 参加希望者

部 署	氏 名

2. 希望会場

希望する会場番号に○をつけ、人数を御記入ください。

※ 本会場、中継会場とも収容人数が限られておりますので、申込み多数の場合は調整させていただくこともあります。その場合は5月19日までに御連絡いたします。

○ 本会場

番号	会場名	人数
1	国際研究交流会館会議場（国立がん研究センター内）	

※定員190人

○ テレビ中継会場

番号	会場名	人数
1	北海道がんセンター	
2	青森県立中央病院	
3	岩手県立中央病院	
4	宮城県立がんセンター	
5	山形県立がん・生活習慣病センター	
6	茨城県立中央病院	
7	群馬県立がんセンター	
8	千葉県がんセンター	
9	国立がん研究センター東病院	
10	埼玉県立がんセンター	
11	新潟県立がんセンター新潟病院	
12	静岡県立静岡がんセンター	
13	愛知県がんセンター	
14	名古屋医療センター	
15	岐阜大学医学部附属病院	
16	大阪府立成人病センター	
17	呉医療センター	
18	四国がんセンター	
19	九州がんセンター	
20	大分県立病院	

※ テレビ中継会場は、現在調整中です。

上記会場（昨年度会場）のうち設定されない会場があり、申込希望に添えない場合は別途御連絡いたします。